

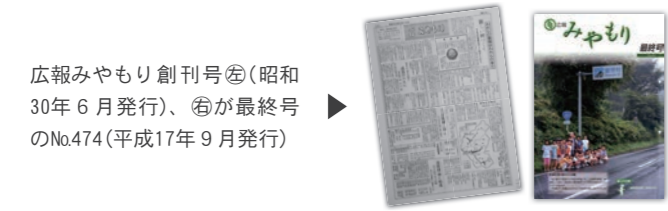
「広報遠野」 広報紙の主な移り変わり

昭和29→30(1954→1955)年 「広報とおの」「広報みやもり」創刊号発行

昭和の大合併で旧遠野市と宮守村が誕生し、広報遠野の前身となる両市村の広報紙が発行されました。以降、デザインや内容など変えながら平成17年9月まで約50年、広報とおのが673号、広報みやもりは454号の歴史を刻みました。



広報とおの創刊号(昭和29年12月発行) 号が最終号のNo.673



広報みやもり創刊号(昭和30年6月発行)、号が最終号のNo.474(平成17年9月発行)

平成17(2005)年10月 新市誕生 「広報遠野」創刊号発行

旧遠野市と宮守村が合併し、平成17年10月1日に新・遠野市が誕生。同13日に「広報遠野」創刊号(No.1)が発行されました。

平成19(2007)年5月 表紙をリニューアル 「全面写真」がスタート

5月号(No.22)から表紙を刷新。現在に続く全面に写真を使った表紙がスタートしました。

平成27(2015)年10月 「広報遠野」の題字変わる

新・遠野市の誕生から10周年を迎えた平成27年の10月号(No.124)で広報遠野の題字を現在のロゴに変更。紙面デザインやレイアウトも見直しました。

令和3(2021)年4月 広報紙面リフレッシュ

市総合計画後期基本計画の初年度に併せ、定番コーナーやデザイン・レイアウトの一部を見直し。4月号(No.190)から現在の紙面構成でお届けしています。



アルのほか、特集の回数を増やすなど、市民の皆さまにより親しまれる広報紙を目指してきました。

現 在も、より親しまれる広報紙を目指し、「毎月毎号、前の号よりいい広報を」と挑戦を続けています。紙面を通して人と人がつながり、頑張りや思いなどを紹介できるのが広報紙。市民の皆さまからの協力が「広報遠野」の大きな支えとなっています。

皆 さんの大切な1冊になるよう、これからも頑張りますので、取材や情報提供などにご協力をよろしくお願ひします。

「広報遠野」創刊号は、合併後の10月13日に発行されました。当時は、A4判右開き、全ページ2色刷りでスタート。現在も続く「青春のトーク」や「まちの話」題、「わがやのアイドル」などの定番コーナーを設け、市内での出来事や市からの大事なお知らせ、スポーツや文化活動での市民の頑張りなど、さまざまな情報を伝えてきました。また、200号到達までの間、表紙や紙面のリニューアル

旧 遠野市と宮守村が合併した平成17年10月から16年4月、「広報遠野」200号の発行を迎えました。200号到達を記念し、あらためて「広報遠野」のことを紹介します。

「広報遠野」200号!

Data 基礎情報	
発行	遠野市
編集	総務企画部
発行日	毎月第1木曜
規格	A4判、中綴じ右開き
頁数	24~40ページ (平均31ページ)
単価	1冊あたり約45.5円

※令和3年度の内容

市民の皆さまに支えられ
令和3年度県市町村広報コンクール3部門入賞
「広報遠野」全国へ！
組み写真の部で40年ぶり県1位

県市町村広報コンクール審査会(県広報協議会など主催)で、広報遠野11月号が組み写真の部(参加45点)で1位に入賞し、本県代表として全国広報コンクールに出品されることになりました。組み写真での県1位は、昭和56年度以来です。また、4月号が広報紙の部(参加30点)で、8月号の表紙が一枚写真の部(参加79点)でそれぞれ3位入賞しました。

組み写真1位の11月号は、春・夏に続く「遠野彩訪」の第3弾で、高清水からの雲海や福泉寺の紅葉など、秋の風景を8枚の写真で紹介しました。4月号は、東日本大震災をテーマにした特集などを中心に40ページで構成。8月号の表紙は「こども本の森 遠野」で読書を楽しむ親子の姿を写しました。

市民の皆さまからの応援、ご協力が大きな力となりました。今後も「広報遠野」をよろしくをお願いします！



組み写真の部1位(11月号)



広報紙の部3位(4月号)



一枚写真の部3位(8月号)

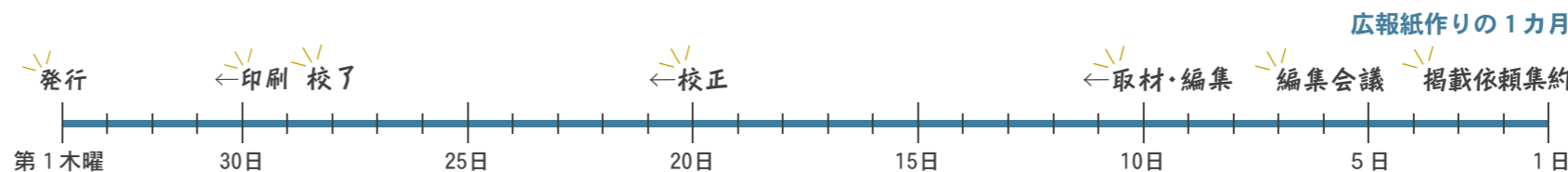
広報への意見・感想はこちらへ

広報遠野への意見や感想をお寄せください。今後の紙面づくりに生かし、遠野の元気を発信していきます。

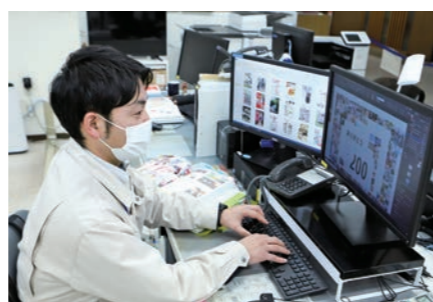
わがやのアイドル写真などもぜひ応募ください！

■問い合わせ 市政担当 ☎62-2111内線215・216
メール koho@city.tono.iwate.jp

市民の皆さまに支えられ、「広報遠野」を発行することができています。



03 編集



インデザインなどの編集ソフトを使い▷記事の作成▷デザイン・レイアウト▷写真加工——などの編集作業を広報担当職員が行っています。

04 校正(確認作業)



字句や体裁、色合いなどを確認。取材相手にも校正をお願いしています。最終データを市内印刷業者に入稿後、再度確認して仕上げます。

02 取材



職員が現場に出向き、インタビューや写真撮影などをします。取材から生まれてくる言葉を大切に、その場の雰囲気などもメモに残します。

05 印刷・製本



広報紙の印刷・製本は、遠野コーニーが行っています。作業中、不具合がないか同所職員が細かくチェックし、広報遠野が完成します。

01 編集会議



発行の約1カ月前に市内の情報や関係機関・団体などからの依頼を集約。市担当者らで広報編集会議を開き、紙面構成や企画を話し合います。

06 発行(配布)



毎月第1木曜日が広報の発行日。各種配布物と一緒に市役所から各町へ。区長さんや役員の皆さんに協力いただき、各家庭に届けられます。

07 配布完了!



毎月の協力、ありがとうございます



取材、記事作り、そして配布作業。「広報遠野」の発行には、市民の皆さんの存在が欠かせません。広報が家庭に届くまでの流れを紹介します。

「手作り」の広報紙
「広報遠野」が届くまで

Voice

市民の声

関心を持ってもらいたい記事を上手に作り、読みやすい。隅々まで目を通しています。 74歳女性

毎月、広報遠野が楽しみです！ 12歳男性

わが町自慢のような企画で、各町のおすすりめなどを知りたいです。 38歳女性

活字がもう少し大きいと助かります。 82歳男性

元気のある農業者を紹介してほしい。 74歳男性

息子が、広報で中学の頃の同級生の活躍を知り、とても喜んでいました。自分も頑張ろうと思ったそうです。 40歳女性

10大ニュース応募時に寄せられた意見や感想